

地域で支えあう住民組織

現在、高齢化や少子化が深刻な問題となっており、地域の福祉課題（例：独居高齢者の孤立化など）が次々と地域の声としてあがっています。

また、地域にある福祉課題に対して、解決しようとしても「地域で話し合う場がない。」「地域にある各団体のつながりが薄い。」などの意見が懇談会より出ています。

そこで、郡上市社会福祉協議会では、地域の福祉課題を話し合い、共有し、解決するシステムとして「地域を支えあう住民組織づくり」を提案します。

平成22年度より「地域を支えあう住民組織づくり」を進める地域に対して、助成金制度を下記のとおり実施します。

自治会長(地区長)に対するアンケート結果より(平成20年度実施)

対象：自治会長(地区長) 156人

問い：あなたは「地域を支えあう住民組織」のような組織や活動を必要と THINK ますか？

結果：①必要と思う 68.9% ②必要と TH 思わない 4% ③よく分からない 27.1%



地域で支え合う住民組織とは？

住民自らが、自分たちの住む地域について考え、自らの手で地域づくりを行う組織です。

- 地域にある様々な団体が連携して
- 地域の福祉課題を解決できるような活動を
- 住民が中心となって行いましょう

地域で支え合う住民組織の条件(原則)

1. 活動範囲を地区公民館以上とする団体 (他の住民組織と範囲が重ならない)
2. 複数の組織の関係者で構成された団体
3. 地域の福祉課題と解決に向けた話し合いを行うことのできる団体

郡上市社協からの支援の目的

地域で支え合う住民組織において、地域の福祉課題について話し合い、地域の福祉課題を解決するために住民組織が行う活動に対して、支援します。

活動に対する助成額

100,000円を上限に、活動に対して助成します。

助成の条件

1. 必須活動を行い、また、選択活動を1つ以上行うこと。
2. 飲食代は対象外とする。(会議の際の茶菓子代は対象とする。)
3. 人件費は、対象外とする。

必須活動



地域懇談会(話し合い)

- 内容
 - ・地域の福祉課題や課題を解決するための活動について、話し合いを年2回以上行う。
- 活動例
 - ・地域の福祉課題について(年度初め)
 - ・今年度行う活動について(年度初め)
 - ・今年度の活動の振り返り(年度末)
 - ・地域の福祉課題が解決できたかどうかの話し合い(年度末)



選択活動



地域の方による助け合い活動

- 内容
 - ・在宅生活を支援しあう住民同士による活動
- 活動例
 - ・清掃、洗濯、買い物
 - ・除雪
 - ・乳幼児の子守り

食事サービス

- 内容
 - ・地域住民とのふれあいや交流を主な目的とし、食事の提供を通して問題の早期発見、孤立防止、見守り活動などを行う。



ふれあいいいききサロン

- 内容
 - ・気軽に交流し合い、地域でいきいきと元気に暮らせることを目指し、参加者とボランティア等が内容を決め、ともに運営する仲間づくりの活動

宅幼老所

- 内容
 - ・空き教室、空き店舗、民家等を活用し、地域住民が運営する地域に密着した高齢者や子育て中の親の集える場
- 活動例
 - ・ふれあいいいききサロンの常設化



講座・研修会の開催

- 内容
 - ・地域での活動を行ってもらえる担い手の養成や、地域住民の方に広く知識を持ってもらうための活動
- 活動例
 - ・ボランティア養成講座
 - ・認知症に関する研修会

その他の活動

- 内容
 - ・地域懇談会(話し合い)での地域の福祉課題を解決する活動
 - ・地域の実情に合わせた活動